

「地域の企業」と「芸工大」をむすぶ

おむすび

⑪

特集「五縁」で新たな事業を創出する呉服屋
とみひろ × 芸工大



連載：ともに歩むわが社を語る ① [株式会社 モス山形] 代表取締役社長 山本 正幸 さん
コケ緑化で地球温暖化の危機を救いたい



東北芸術工科大学 後援会

「五縁」で新たな事業を創出する呉服屋 とみひろ × 芸工大

株式会社とみひろ 代表取締役社長 富田浩志さんに聞く

後援会幹事の株式会社とみひろ 代表取締役社長 富田浩志さんは、これまでに本学から2期生を筆頭に、50名ほどの新卒者・既卒者を採用してくださいました。卒業生社員の中には、複数の店舗を統括する幹部もいます。また、近年は本学との縁がきっかけで新たな事業を創出していらっしやいます。日本の伝統文化を根底部分からしっかり継承しつつ、常に新しいことに挑戦し続ける富田さんにお話を伺いました。

聞き手：遠藤牧人（企画調査室）／写真（上）：株式会社JPD



庭多泉に併設したマルベリーカフェでの取材風景。左から阿部由希さん、伊藤典子さん、富田浩志社長、梅津佐和子さん (j)



JR 山形駅西口の駅前通りにある株式会社とみひろの本社ビル



富田浩志 とみた・ひろし
近江商人を商祖に持ち、創業1578年、23代目を引き継ぐ。呉服関連以外の事業として、少人数の結婚式場事業やカフェ事業、観光事業など次々に展開。「日本を美しくする会」東北ブロックのブロック長、「山形掃除に学ぶ会」の代表世話人も務める。(j)

440年以上の伝統を踏まえ 日々進化する会社

—— 本日はお忙しい中、お時間をいただきましてありがとうございます。また、開学以来、本

学の卒業生を多数採用していただき、大変感謝しております。まず初めに、御社のご紹介をお願いします。

富田：私共の会社は天正6（1578）年創業です。創業400年以上の会社は、私の知る限り、呉服業界では2軒のみです。私共は「伝統は革新の連続である」と考え、皆様に賛同をいただいております。社員は130名ほど、平均年齢は38歳と若く、8割が女性で、女性が活躍しやすい会社だと思えます。芸工大からこれまでに、既卒も含めて50名ほどの卒業生を採用しております。

もちろん、キャリアを積んだ社員や男性もおりまして、みんなで力を合わせてうまく運営できています。山形から始まって宮城、埼玉、東京、神奈川、京都に店舗があります。着物販売以外にも、振袖レンタル、フォトスタジオ、結婚式場、着物制作、養蚕、和裁のほか、新しくデザイン業や地域創生にも取り組んでいます。

コロナ禍ではありますが、おかげさまで業績はずつと伸びております。これから事業をさらに拡大すべく、今後も芸工大の皆さんに当社に入社していただきたいと思っています。

—— 「とみひろ」という会社は、女性が働きやすい職場というイメージがあります。今日も女性3名の卒業生社員をご紹介いただけるということですが、女性を積極的に採用する理由と3名の方の仕事内容をお話いただけますか。



「庭多泉」の庭にて。ここを含む8店舗の統括者の伊藤典子さん(j)



「庭多泉」の店内から庭園を望む。和の空間を体験できる(j)

化の体験の場なのですね。次は梅津さん、お願いします。
テキスタイルやグラフィックも活かせる職場

梅津…私は和装文化が好きでしたが、学生時代は最初、陶芸とか漆を目指していました。でも山崎和樹准教授と出会い、草木染の染料を採る植物を、種から育てるところから学べると知って、テキスタイルを専攻しました。現在は染織工芸にて、糸を草木染で染めて、それを使って糸を織っています。芸工大でもここ数年、非常勤として教えさせていただいています。
富田…彼女には白鷹で養蚕にも協力してもらっています。糸づくりから関わると、染織にも魂が入ります。今、県内で養蚕をやっているのは



染織担当の梅津佐和子さんは養蚕にも携わる(j)

富田…着物の業界はお客様の多くが女性なので、きめ細かい気配りやコミュニケーション能力を活かせる仕事としても、女性に向いていると思います。もちろん、男性が向いていないわけではなく、芸工大から最初に採用した2期生の男性社員は、現在、関東の店舗を統括する幹部に成長しています。

同じく幹部の伊藤典子さんは、生産デザイン(現プロダクトデザイン)学科卒の4期生で、現在は「庭多泉(にわたずみ)」の店長兼東北8店舗の統括者です。着物の販売だけではなく、「着物体験」を売る仕事もしてもらっています。
梅津佐和子さんは2010年度に美術科テキスタイルコースを卒業。現在は当社オリジナルの着物を制作する染織工芸に所属しつつ、芸工大でテキスタイルを教えています。全国でも着物の染織に関わる就職口は少ないのが実態です。当社では世界で一着だけの着物を作る草木染の手織りの職人を育てています。

そして、阿部由希さんは2012年度にグラフィックデザイン学科を卒業し、当社のデザイン部で社内の販促物の制作、各種デザインの監修や外部受注のデザインの仕事をしてもらっています。彼女の加入で、新たにデザイン部ができました。

みんな当社で活躍してくれており、芸工大には感謝しています。
——こちらこそ、ありがとうございます。

3軒だけ。全国でも250軒ほどです。日本の養蚕文化の歴史は少なくとも1300年、そういう国は日本しかありません。でも、今は99.8%輸入です。テキスタイルは機械化が進んでいて、それ自体悪いことではありませんが、山形には草木染や手織も残していきたいです。当社は2500坪の桑畑の開墾から始めました。
養蚕は農薬があるところではできません。山中でやればいいけれど、アクセスが悪い場所は難しい。なかなか見つかりませんでした。念ずれば花開く、7年ほど前に白鷹の十王が浮上して、そこには70〜80代の養蚕に関係した人が残っていました。技術を教えてもらうぎりぎりのタイミングでした。

養蚕の先達が亡くなるまで1年ほど協力を得て、ゼロから試行錯誤しながら、2016年には50年ぶりの新規養蚕農家となりました。



染織工房での梅津さんの手織り作業風景。日本の伝統技法を継承しつつ、未来へとつながる世界にただ一着の着物づくりを目指している

マルベリーカフェは 着物文化体験の場

——続いて卒業生からご自身の仕事について。はじめに、このお店の店長、伊藤さんから…。
伊藤…私は昔から着物の生地が好きで、その美しさと歴史・文化も含めて日本に残すものとして、後世に伝える仕事をしたいと入社しました。

どちらかというと着物は日常的なものではなく、結婚式や成人式など特別な日だけに着るものと思われているかもしれませんが。着物を着て食事をしたり、音楽を聴いたり、染色体験をしたり、着物を作っている場所を見学したりして日常の中に着物が起こす特別感を味わっていただきたい。このお店へのカフェの併設を社長に提案したのも、そんな想いがあったからです。

この「マルベリー(桑)カフェ」の名も、着物が繋いだ縁を大切にしたいと思ったから。(絹糸を吐くカイコが食べる)桑を使ったスイーツも提供しています。開店から5年、県内外から沢山のお客様にご利用いただいています。

富田…今期は東北以外に東京の表参道店も、彼女に任せます。自分の経験やアイデアを新しい店にフィードバックして、スタッフにも着物を楽しんでもらいたいです。それが向上心につながるので。期待しています。

——ありがとうございます。カフェは着物文



阿部由希さんの入社でデザイン部が誕生(j)

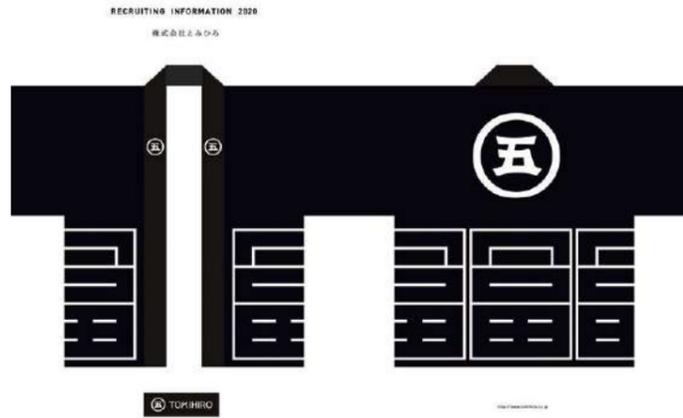
——ありがとうございます。では阿部さん、お願いします。阿部さんは着物とはちょっと離れたグラフィックデザイン学科出身ですよね。
阿部…はい、私の場合は着物への興味からというより、卒業後、グラフィックの助手として大学に勤めていた時に、学科長の原 高史教授が懇意にしていた富田社長と知り合ったのがきっかけです。何かの折に、とみひろのロゴを新たに作ろうというお話になり、それを私が制作させていただいたご縁で。

富田…原さんとの出会いは東京で、画家として友人から紹介され、ボブ田中教授(企画構想学科長)も含め、芸工大の先生とは知らず、付き合いが始まりました。阿部さんが所属するデザイン部・広報部にはその後、養蚕部を兼務する星美沙子さん(2018年度グラフィックデザイン学科卒)、同じく副手をしていた須藤鈴架さん(2015年度卒)も加わり、活躍してくれています。

——ありがとうございます。

とみひろ代々の教え 「五縁」でつながる芸工大

——さて、社長にはこれまで本学から多数の卒業生を採用していただいておりますが、どのようなお考えで採用されているのでしょうか。
富田…どうしてこういう人数を採用してきたかと言えば、縁としか言いようがありません。それは、まさに当社のマークにもなっている「五縁」です。それは、人の縁、時の縁、地の縁、育縁（よい縁ほど育てなければならぬ）、殖縁（次の代につながる縁）で、当社代々の教えです。山形によくぞ芸術の大学が来てくれたと。県



阿部さんがデザインしたリクルート用会社案内の表紙と裏表紙。伝統の中にも新しさを感じられるデザインが「とみひろ」を語る

外からもたくさんさんの若い人が集まっています。ありがたいことです。芸工大とは、先のお二人の先生以外にも、根岸理事長や中山学長などと、いろいろな縁が重なっています。芸工大開学から重ねてきた縁を、これからも大切にしていきたいです。
——「とみひろ」のようにしっかりと受け止めてくださる企業があったからこそ、芸工大は山形に根を張れたのだと思います。

「着物のテーマパーク」構想から 「きものリトリートホテル」へ

——さて、この春、白鷹の「とみひろ里山養蚕所」から発展した新たな事業を展開されましたね。

富田…はい、「NIPPONIA 白鷹源内邸」ですね。これは「きものリトリートホテル」です。元々の構想は35年くらい前から温めていた着物のテーマパークを作りたいという想いがベースにあります。それが発展し、お世話になる白鷹の地域創生の起点になろうと。

養蚕の縁から白鷹に関わりはじめて、知人の紹介で、空き家になっていた、浅立の五つの蔵を有する源内邸と出会ったのです。実はこの物件、20年前にも紹介されて、その時は色々な事情からお断りしたものでした。強い縁を感じました。

社外にも縁を広げ、深くしていき、点が線になるように、さらに円（縁）になるように繋げて、会社や山形に貢献していきたいです。

梅津…まずは自分の技術の向上を、そしてそれを人に伝え、教えていきます。学生に織りを教えてみて、それが大切だと思うようになりまし。技術を伝承する人を増やしたいです。

伊藤…これは難しいことですが、着物が嫌いな方、好意的ではない方にも振り向いてもらうことにチャレンジしたいです。当社にはいろいろな部門があります。社長が発想したコトをつなぐ人、モノを作る人、そのモノ・コトに価値をつける人…。その中で私は、社長もよく知らない、会社もわからないような所に手をつ突っ込んで、広げたいと考えています。難しいことに



上：今春、山形県白鷹町に開業した着物リトリートホテル「NIPPONIA 白鷹 源内邸」。この施設の開業には本学関係者も多数関わった。広大な敷地に点在する古民家は、このホテルのコンセプトにふさわしいたずまいを見せている／下：シンプルなモダンなダイニング「纏（まとい）」は、味噌蔵をリノベーションして作られた。これからさらに歴史を積み重ねていくための心地よい「余白」が感じられる



左から、白鷹に開墾した桑畑。桑の葉を食べるカイコ。カイコの糸から生産された絹糸。これが純山形産の着物になる

チャレンジするのが好きなんです。——「とみひろ」は長い長い伝統を誇る会社です。それを率いる富田社長に温かく見守られ、芸工大で芸術やデザインを学んだ卒業生たちは、生き生きと軽やかに、責任ある仕事に取り組んでいました。これからも、よりよい未来を創るべく、山形の地とともに歩んでいきたいと思います。本日はありがとうございました。

株式会社とみひろ

<https://www.tomihiro.co.jp/>

編集部では、後援会員企業と卒業生・在学生の協働した事例を積極的に紹介してまいります。記事として取り上げてほしい情報がありましたら、ぜひご連絡ください。

——それでは最後に社長から会社としての、卒業生の皆さんからは個人の抱負をお聞かせください。

富田…日本が発展するためには民族意識の高揚が大切です。着物はその一翼を担います。同時に、国の発展の根幹には地域があります。「故郷は国の基となり（日本銀行第15代総裁…結城豊太郎）」です。

芸工大ができて、そこに若者が集まるということは財産です。山形がいいと思って残ってくれた若者たちの受け皿に地元企業がなれば、ますます若者は集まります。そのために力を尽くします。地域はアイデンティティです。

阿部…私はデザインを通して、社内はもちろん、



山形市高瀬地区にあるコケ畑を巡回する山本さん。増え続ける耕作放棄地をコケ畑に変えている(j)



上：芸工大と共同で開発したコケテーブル。この上にも一枚ガラスを載せてコケを眺めながら使用する／下：隣接する作業場で苔盆栽、苔玉等の小物を製作している

くても5カ月間生きられ、土がなくても生育します。しかも軽量で手入れが簡単。コケ緑化は無駄なエネルギーを使わず手軽にできる緑化なのです。動物や人間の繁栄を支えるのに十分な量の酸素をもたらしたのも、コケ植物です。私はコケ栽培の技術開発をしようと決めました。後押ししてくれたのは1997年12月の『気候変動に関する国際連合枠組の京都議定書』批准でした。県でも予算が付き、3社と5軒の農家が参加して山形県コケ開発協会を設立しました。」

以来、山本さんの仕事はずっと環境保全に軸足を置いています。

**苦戦する中で
耕作放棄地対策に活路**

しかし、その事業は必ずしもうまくいかなかったそうです。

「県の補助金をいただき頑張ったので

すが、売れませんでした。日本では当時、緑化云々のまえに、そもそも環境に対する意識が低かったんですね。当初は県内でも、公共事業を中心にいろんな施設のコケ緑化計画が持ち上がりましたが、結局はすべて中止になってしまいました。特に2011年の東日本大震災以降は、緑化よりも太陽光発電に資金が流れ、そういう状態は今も続いています。設計まで行ってもそこでおしまい。そうなる企業も撤退します。国内にあった緑化事業者30社ほどが廃業しました。」

「近年ではSDGs(サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ)の推進が叫ばれていますが、推進しようにも業者がない状況です。でも、自然の力を利用する緑化は、工業製品に頼らないから、開発段階で排出する二酸化炭素が非常に少ない。本当は温暖化防止の基本になるべき方法なのです。今、日本全国でコケ緑化会社は3社ほ

「株式会社 モス山形」 代表取締役社長 山本 正幸さん

コケ緑化で

地球温暖化の危機を救いたい



山本 正幸 (やまもと・まさゆき)
大学卒業後、コンクリート会社を経て、食品・酒の小売業を始め、その後、ログハウス事業、コケ植物の栽培技術と緑化資材としてのコケ製品開発に取り組んできた。(j)

この新コーナーでは、会員企業の代表者に
自社を語っていただきます。
この企画をきっかけに、会員相互の
交流を促進するのが狙いです。
初回は、日本におけるコケ緑化の第一人者、
山本正幸社長率いる株式会社モス山形です。

取材・編集：遠藤牧人(企画調査室)
写真(j)：株式会社JPD



上：キリン親子の形をしたコケトピアリー。社屋の入口でも、たくさんの動物たちがお出迎えてくれる／右：山形市西部の広大な田畑の中にある、モス山形の社屋と作業場(j)



**コケ緑化に特化して
環境問題の解決を目指す**

山本さんとの出会いは2014年のエコプロダクツ展でした。
「サステナブルデザイン国際会議を開催した(2011年2月)芸工大の産学連携の担当者として、山形からどんな企業が出展しているんだろうと見ていたら、コケ緑化のブースを発見。素晴らしいお仕事だなと。」
と切り出すと、山本さん、
「そうでしたね。そのあと、コケインテリアのデザインをプロダクトデザインのゼミにお願いしたり、2016年度の県のデザイン共創促進事業でコケテーブルをデザインしていただいたり。一連のコケ緑化活動が認められ、当社は2020年に山形県環境保全推進賞を受賞しました。」

取材の合間にも、盆栽とコケを組み

合わせたインテリアの作り方のコツを、さりげなく社員に実演する気さくなお人柄は、きつと芸工大生を引き付けたことでしょう。

山本さんは現在、国内シェアの80%を占めるコケ緑化の第一人者ですが、コケに携わるようになったきっかけは何だったのでしょうか。

「株式会社モス山形の創業は1992年、最初は県産材ログハウスの木材加工をしていました。当時は別荘が注目されていて、ログハウスの需要も多かったです。でも短期間しか使わない別荘はエネルギー効率が悪く、いつも掃除から始めなければならぬです。ブームは長続きしませんでした。」

「当時、まだ誰もやっていなかったコケ緑化を事業化したのは1996年です。コケは4億年前に陸上に進出し、地球が過酷な無機的环境にあった時期から延々と生き延びています。水がな

どです。厳しい状況ですが、資金と仲間を募り、少しずつでも行動を起こしていこうというのが現状です。」

そのような状況の中でも、地方の自治体が注目せざるを得ない問題があります。それは、耕作放棄地問題です。

「公共事業でもなかなか予算がつかない緑化事業ですが、地方では増え続ける耕作放棄地の対策に、自治体は手を焼いています。かつて日本人の主食はコメでしたが、近年は小麦に取って代わられました。中山間地を中心に水田の耕作放棄はすさまじい勢いで進んでいます。モス山形では耕作放棄地をコケ畑にして、将来の需要に備えてコケの増産を行っています。これから環境に対する意識が高まれば、コケ緑化は進むと思います。東北6県はもとより



全国の自治体から視察が来ています。」

人と人を繋ぎ 人の心も緑化する山本さん

さて、コケという植物を媒体に「緑とともに夢を見られる持続可能な社会」を目指している山本さんですが、その活動の幅は驚くほど広い。例えば：「芸工大の裏の悠創の丘で盆栽展をやっていますが、私はその事務局長です。その盆栽とコケを組み合わせて10年ほど前にコケインテリアを商品化しました。芸工大に相談を持ちかけたのもそのような流れです。これからの時代は、農業分野の仕事にもデザインは必要です。そして、5年ほど前には芸工大の卒業生、鏡慶吾君(2007年



上：山形市上反田の食品倉庫の折板屋根緑化の例。SDGsを意識した省エネ対策/下：2020年に受賞した山形県環境保全推進賞の賞状(j)

映像学科卒)を中途採用しました。」山本さんは、直接コケに関係のない分野でも、さまざまな人を繋ぐ活動を行っています。

「私、実は以前、山形市内の松見町に骨董の店を持っていました。芸工大生も来ていましたよ。そんな流れで最近、古民家の改修をする大工さんと出会いました。今どき茅葺き屋根の葺き替えができる素晴らしい職人さんです。その彼が骨董屋を始めるといので、うちの骨董もお店に並べてもらっています。」

「農業と福祉の連携にも力を入れていきます。山形は障がい者の賃金が全国最低、しかもこのコロナ禍で、障がい者は抛り所がありません。何とか力になりたいです。今日も知的障がい者が実習に來ています。一人ひとりの症状に合わせて仕事をしてもらうことが大切です。他人と交わることが苦手な人には気心知れた仲間と落ち着いてコケを並べてもらう作業とか。その他、コケとは全く関係のない話ですけれど、お付き合いのある大手通信会社と障がい者の団体を繋いでイベントをやったりしています。」

こうなるともう「心の緑化」事業です！山本さんは言います。

「連携の橋渡しをするのもうちの仕事だと考えています。いかにアイデアを出して繋いでいくかが大切です。」

その他にも、次々と連携の話が、地元企業から大手まで：大学との連携も全国規模です。

「薄荷の産地 山形」を復活させたい

さて、近年、山本さんが力を入れている事業に「薄荷の産地 山形」を復活させる事業があります。このコロナ禍で、清涼感のある薄荷はマスクに使えると注目されています。そのきっかけがちょっと面白い。それは5年ほど前のことでした。

「私が着ていた法被に『薄荷』と書いてあったのです。それがきっかけでいろいろ調べたら、山形がかつて薄荷の産地で、天童の高橋出身の屯田兵がそれを北海道に持ち込み、それが世界に広まり、世界シェアの70%にもなったということが分かったのです。」

そんな山本さんのもとに、取材当日、山形東高校の女子生徒さんたちがやって来ました。聞けば、商品化の勉強の題材として薄荷を選び、その勉強をしに来たとのこと。収穫した薄

荷を蒸留器にセットして、レクチャーを始めた山本さん。そのまなざしはまるで教育者のようでした。「私はこういうものを作ろう、といった目標は設定しません。どんな商品が生まれるか分かりませんが、彼女たちに素材と場所を提供して、何を作り、それをどう売っていくか(むしろこちらの方が重要ですけどね)、それを勉強する姿を見守ります。」

地球温暖化防止には これからの10年が大切です

最後に、今後の抱負をお聞きしました。

「日本という国は、温暖化防止と言っても工業優先で、緑化にはあまり力を入れてきませんでした。でも、民間では水面下で、すでに連携の実績のある大手の建設会社が、いつでも緑化活動を再開できるように準備してくれています。大手コンビニチェーン、飲食店、電力会社からも屋根緑化の話が来てい

ます。四半世紀コケ緑化を手がけてきて、大変なことが多かったですが、今後は期待を持っています。私の子供の代、孫の代にはよくなっていくと思います。地球温暖化防止は、これからの10年がとて大切ですよ。」

「芸工大の学生さんたちには、今後ますます学外に出ていろんなものを見て、いろんな人と交流・連携して学んでほしいです。人と人が繋がることはとても大切です。今、私は薄荷製品の商品化を考えていますが、例えそれがうまくいかなかったら、その活動の中で繋がった人たちと、また別のことができたらいんじゃないですか。後援会会員企業にはいろんな会社がありますから、学生さんには、うちに限らずいろんな企業と組んで、いいアイデアを形にしてほしいですね。」

コロナの暗雲立ち込める時代に、心温まるお話をありがとうございます。これからの時代を担う若者を育てる大学として、芸工大も山本さんとともに、地球温暖化防止に取り組みしていきます。

株式会社モス山形
<https://mos-yamagata.com/>



上：山形県立山形東高等学校の生徒たちに、薄荷製品に関するレクチャーをする山本さん。高校生とのコラボでどんな商品が生まれるのか、楽しみだ/下：蒸留器の準備をする山本さん。もっと大きいのがあれば、大量に蒸留できるのだが…。協力してくれるパートナーを募集中(j)/左：社屋の近所にある畑で薄荷の生育状態を確認する山本さん。社長の次なる夢がここでも着実に育っている(j)



後援会会員

243社(2021年7月25日現在)五十音順

- (株)アートエッジ
- あいおいニッセイ同和損害保険(株)
- 愛和建设(株)
- (株)朝日測量設計事務所
- (株)アサヒマーケティン
- 東あじまん
- 東の麓酒造(株)
- (株)AZOTH
- (株)荒正
- (株)いそのボデー
- (株)市村工務店
- (株)井筒屋
- (株)IBUKI
- 岩崎雅幸行政書士事務所
- 羽陽建設(株)
- うるしやまタクシー(株)
- (株)ウノハウス
- (株)エイアンドシー
- SMB C日興証券(株)山形支店
- (株)エスパック
- (株)エフエム山形
- (株)エム・エス・アイ
- (株)エル・サン
- (株)エルティリゾートやまがた
- 遠藤商事(株)
- (株)オーイン
- (株)大風印刷
- (株)大久保硝子店
- 太田産商(株)
- オオホリ建託(株)
- (株)オカムラ
- (株)小川製麺所
- 奥村恵一郎行政書士事務所
- (株)奥山商店
- 小野建設(株)
- オビサン(株)
- オブテックス工業(株)
- オリエンタルカーペット(株)
- (株)カーサービス山形
- (有)鏡景店
- (株)カスカワスポーツ
- 月山観光開発(株)
- (株)加藤物産
- (株)金入
- (株)上山温泉ホテルあづま屋
- (株)カルラ
- 技研(株)
- (株)杵屋本店
- (株)きらやか銀行
- (株)銀山荘
- (株)きんでん東北支社
- (株)クワイティヴスタッフ
- 黒澤建設工業(株)
- (株)KDDIエボルバ
- (株)建築テクノ
- 弘栄設備工業(株)
- (株)後藤組
- (株)小森マシンナリー
- (株)財務サポート
- (株)蔵王サブライズ
- (株)蔵王ミート
- 酒井造園
- (株)栄屋ホテル
- (株)ささき(ブライダルハウスささき)
- (株)佐藤松兵衛商店
- (株)サニックス
- (株)山形サンシャイン大森
- (株)J S コーポレーション東北支社
- (株)JTB山形支店
- (株)JPD
- (株)JES設計
- (株)シェルター
- (株)志鎌園
- (株)四山楼
- (株)ジョイン
- (株)荘内銀行
- (株)松柏会 至誠堂総合病院
- (株)尚美堂
- 進和ラベル印刷(株)
- (株)鈴木製作所
- (株)須田医院
- (株)清水会
- セコム(株)山形統轄支社
- (株)セゾンファクトリー
- (株)セロン東北
- 全国農業協同組合連合会山形県本部
- (株)そめこや本店
- (株)大商金山牧場
- (株)ダイバーシテイメディア
- 大和証券(株)山形支店
- ダイワボウ情報システム(株)山形支店
- 高橋一夫公認会計士事務所
- (株)高橋型精
- 高橋畜産食肉(株)
- (株)高橋フルーツランド
- (株)タカハタ電子
- 宝化成機器(株)
- (株)タキザワ
- (株)竹原屋本店
- (株)多田農園
- (株)後藤組
- 田宮印刷(株)
- (株)丹泉ホテル
- (株)丹野
- (株)丹野園茶舗
- (株)丹野こんにやく
- (株)千歳館
- (株)千歳建設
- 千歳不動産(株)
- (株)千歳建設
- 長文堂
- (株)山形サンシャイン大森
- 千代寿虎屋(株)
- (株)千代田商事
- (株)塚田会計事務所
- (株)ツルヤ商店
- (株)テトラス
- (株)デンソーFA山形
- (株)天童木工
- (株)でん六
- 東栄コンクリート工業(株)
- 東京海上日動火災保険(株)山形支店
- (株)東北環境総合サービス
- 東北電化工業(株)
- 東北電力(株)
- 東北バイオニア(株)
- (株)東北ハム
- トリエイ工業(株)
- (株)富岡本店
- (株)とみひろ
- トヨタコロラ山形(株)
- (株)トヨタレンタリース山形
- 内外緑化(株)
- (株)ナウエル
- (株)永井設計
- 永田歯科医院
- (株)長門屋
- 那須建設(株)
- (株)nanoha
- ナブコシステム(株)山形支店
- 西東北日野自動車(株)
- (株)にしむら
- 日本ベスト(株)
- 日本地下水開発(株)
- (株)ニューテックシンセイ
- 沼澤歯科医院
- ネットヨタ山形(株)
- (株)ネットワークの里
- (株)野川商事
- 野口鉱油(株)
- 野村證券(株)山形支店
- (株)ハイスタッフ
- (株)ハイテックシステム
- (株)羽田設計事務所
- (株)八文字屋
- 東日本電信電話(株)山形支店
- ファースト興産(株)
- (株)フアイン
- 藤庄印刷(株)
- 富士ゼロックス(株)
- フジテック(株)東北支店
- 布施弥七京染店
- 平成タクシー(株)
- (株)ベガスベガス
- (株)保志
- (株)ホシカワ
- (株)ホテル月の池
- (株)ホリエ
- (株)本間利雄設計事務所
- 升川建設(株)
- (株)丸九大屋
- (株)マルゼン山形営業所
- 丸善雄松堂(株)仙台支店
- (株)丸俊
- ミクロン精密(株)
- みずほ銀行山形支店
- 三井住友海上火災保険(株)
- ミツバチガーデンカフェ
- みよし工業(株)
- マイク美創(株)
- (株)名月荘
- (株)メフォス 東北北事業部山形支店
- (株)モス山形
- (株)モンテディオ山形
- (株)ヤガイ
- (株)矢口
- 八千代交通(株)
- 山形アドビューロ
- 山形いすゞ自動車(株)
- 農事組合法人山形おきたま産直センター
- 山形ガス(株)
- (株)山形銀行
- 山形空港ビル(株)
- 山形山形ランドホテル
- (株)山形県観光物産会館
- 山形県行政書士会
- 山形県護国神社
- (株)山形県自動車販売店リサイクルセンター
- 山形建設(株)
- 公益社団法人山形県宅地建物取引業協会
- 山形県民共済生活協同組合
- 公益社団法人山形交響楽協会
- (株)カキザキ 山形国際ホテル
- 山形醸造(株)
- 山形市農業協同組合
- (株)山形商美社
- 山形食品(株)
- (株)山形新聞社
- 山形信用金庫
- 山形ゼロックス(株)
- (株)山形第一不動産
- (株)山形テレビ
- 山形トヨタ自動車(株)
- 山形農業協同組合
- 山形バナソニック(株)
- (株)山形ビニール商会
- (株)山形ビルサービス
- (株)山形部品
- 山形放送(株)
- (株)山形丸魚
- 山形陸運(株)
- 山形ワシントンホテル(株)
- (株)ヤマコー
- (株)ヤマコン
- (株)ヤマザワ
- 山形新観光(株)
- (株)山形新広告社
- (株)山田鶏卵
- (株)山本組
- 悠湯の郷ゆき
- 由良温泉八乙女
- (株)よしだ
- (株)吉田段ボール
- 恵聖画廊
- (株)蘭企画
- リコージャパン(株)山形支社
- 両羽協和(株)
- 菱機工業(株)仙台支店
- (株)旅館古窯
- リンネル(株)
- (株)レンタルプラザ
- 和田酒造(株)
- 渡辺包装(株)



後援会ホームページはこちら